

1 先進的なエリアマネジメントの取組等に関する調査

(1) 調査フロー

全国のエリアマネジメント団体を対象として、持続的な財源確保、オープンスペースや屋内空間の柔軟かつ多様な活用、リアルタイムなデータ等を活用したまちづくりや公共空間利活用、多様な主体と連携した活動など、現在、実践または検討されている先進的なエリアマネジメントの取組について調査を行った。以下に調査フローを示す。

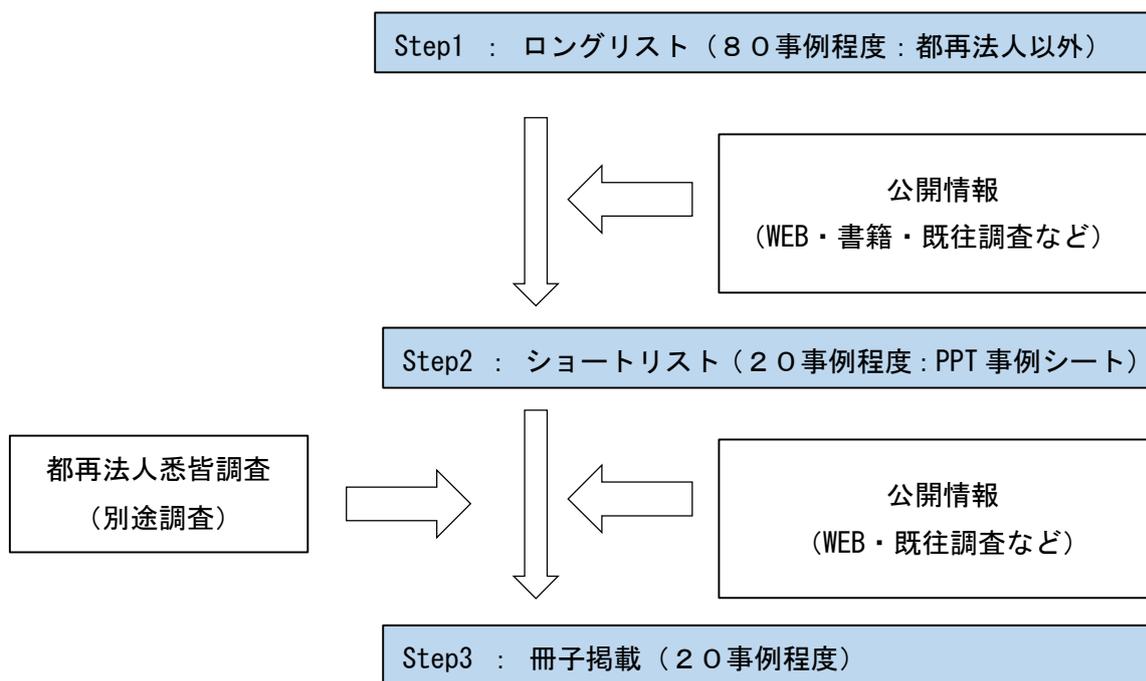


図 事例調査フロー

(2) 先進的なエリアマネジメントに関する事例シート

(1) の調査フローの基づき、「総合性のあるエリアマネジメント団体」「先進性のあるエリアマネジメント団体」の2つの観点から事例の選定を行い、事例シートを作成した。調査対象は都市再生推進法人を含む。

・ 総合性のあるエリアマネジメント団体

総合性事例は、「エリアビジョンの存在」「官民連携体制の存在」「経営資源の確保における工夫の所在」の観点から事例の選定を行った。

エリマネ団体名称	所在地	総合性ポイント		
		エリアビジョンの存在	官民連携体制の存在	経営資源（人・場所・金）の確保における工夫の存在
札幌駅通まちづくり（株）	北海道札幌市	○ まちづくりビジョン	○	○ 広告・公共空間の場所貸し
(NPO) 大丸有エリアマネジメント協会 ※都市再生推進法人	東京都千代田区	○	○	○ 企業会費・広告・DMO 事務局等の収入源
(一社) We Love 天神	福岡県福岡市	○ ガイドライン	○ 市・県・福岡銀行等と連携	○ 広告・公共空間場所貸し・店舗・自販機など
(一社) 渋谷駅前エリアマネジメント	東京都渋谷区	○	○	○ 広告・公共空間場所貸し
まちづくり福井(株) ※都市再生推進法人	福井県福井市	○ まちづくりビジョン (民間主導)	○	○ 公共空間の指定管理、公共空間場所貸し、不動産賃貸、コミュニティバス事業など

・ 先進性のあるエリアマネジメント団体

他都市のモデルや参考となる先進的な取組みを行っている事例の選定を行った。

エリマネ団体名称	所在地	他都市のモデルや参考となる先進的な取組み
札幌駅通まちづくり（株）	北海道札幌市	地下歩道を活用した収益事業の展開
(株) まちづくり八戸 ※都市再生推進法人	青森県八戸市	地方商店街のサービス向上型エリマネのモデル
(NPO) かみのやまランドバンク※都市再生推進法人	山形県上山市	観光地再生型エリマネのモデル
合同会社 ミライズ（株）	新潟県新発田市	観光地再生型エリマネのモデル（地域の旅館・ホテル8社が共同出資して、まちづくり会社を設立・運営）

長浜まちづくり(株)	滋賀県長浜市	歴まち再生型エリマネのモデル(案内所運営、歴史的建造物の運営、町屋バンク事業など)
(一社) まちにわひ ぱりが丘	東京都西東京市	団地再生型エリマネのモデル(開発事業者が初動期におけるエリマネ経営資源を拠出、UR が活動拠点ともなる施設を提供)
(一社) ドレッセ WISE たまプラーザ	神奈川県横浜市	郊外住宅地再生型エリマネのモデル(鉄道事業者が初動期におけるエリマネ経営資源を拠出、事業領域を段階的に広げていく)
(一社) TCCM ※都市再生推進法人	愛知県豊田市	都市利便増進協定にもとづく豊田市停車場線等の活用事業の実施
(一社) 荒井タウン マネジメント ※都市再生推進法人	仙台市若林区	計画段階からエリアマネジメントを想定した土地区画整理事業の実施
(社会福祉法人) 佛 子園	石川県輪島市	社会福祉法人が、福祉施設を核としながら、スポーツや国際交流なども含めたコミュニティ再生型のまちづくりを展開
(一財) 武蔵野市開 発公社 ※都市再生推進法人	東京都武蔵野市	まちなか空間資源の有効活用(まちからベンチ)
(一社) 淡路エリア マネジメント	東京都千代田区	開発においてエリマネ活動参画を入居条件とした学生寮(優遇賃料)の設置、エリマネの担い手となる学生人材を確保
錦2丁目エリアマネ ジメント(株) ※都市再生推進法人	愛知県名古屋市	202年度竣工予定の再開発事業の低層階にエリマネ団体が床を取得し、テナントミックス事業を実施予定
三宮中央通りまちづ くり協議会	兵庫県神戸市	ほこみち1号/日本の道路空間活用(社会実験・パークレット・道路管理活用協定・ほこみちなど)を牽引してきた事例
(一社) ひとネット ワークひめじ	兵庫県姫路市	公共空間のマネジメント(姫路駅北にぎわい交流広場・路上駐輪場など)を収入源にしている事例
(一社) 北長瀬エリ アマネジメント	岡山県岡山市	地域の課題解決と価値創造を目的に民間企業と地元NPOが生活利便施設を基盤に活動展開
(一社) まちのね浜 甲子園	兵庫県西宮市	浜甲子園団地地域の建替・再開発事業に伴うエリアマネジメント、初動期は開発事業者が参画し住民と協働

総合性のあるエリアマネジメント団体

【総合性】札幌駅通まちづくり（株）

札幌駅通まちづくり(株) (北海道 札幌市)

国土交通省

組織概要

組織形態：株式会社
 設立年：2010年9月
 構成員：社員14名
 株主：17企業・団体（札幌駅前通振興会、駅前通沿道企業10社、駅前通隣接企業4社、札幌商工会議所、札幌市）

<組織設立の背景と目的>
 札幌駅前通地区を魅力ある都心の顔として育み、恒常的なぎわい形成や都心活性化を目的として2010年9月に設立。チ・カ・ホやアカブラの指定管理業務、広告事業、コミュニティづくりなどハードとソフトにわたってまちづくりを行う。

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

■ 主な事業

- 札幌駅前通地下広場（「チ・カ・ホ」）の管理・運営
 - 文化の発信および賑わい創出のための企画・運営
 - 広場の貸し出しサービス 等
- エリアマネジメント広告
- 札幌市北3条広場（「アカブラ」）の管理運営
 - 広場の活用検討・実施 等
- 札幌駅前通地区のまちづくり
 - まちづくり活動を行う委員会の設置・運営
 - 情報誌の発行 等

地下歩行空間

指定管理業務
（指定管理業務）
広告事業（賃借・その他）
地下歩行空間活用事業

Eコマース

人材育成事業
（人材育成プログラムの実施）
オープンカフェ事業等

↓ 活用 ↓

Eコマース

地下・地上の広場等を活用した
各種事業（店舗・その他）
地域まちづくりの調整
まちなか案内・観光案内

活用

地域観光・観光活動
まちの美化清掃等推進事業
（ALSフォーシーズンイベント等実施）
地域対策・情報発信等支援

掲載広告
掲載ビジョン

掲載場所：7か所
 大きさ：縦2m×長さ1.4m～2.9m
 掲載料金：短期(4か所) 40万円/週
 長期(3か所) 312～380万円
 稼働率：短期 93%、長期 100% ※2013年度実績
 販売形式：指定代理店制度
 （現在8社の広告代理店と契約 販売手数料：25%）
 デザイン・監査並以（専門家を含む「審査委員会」を設置）

活動範囲

札幌駅から大通公園にいたる札幌駅前通の両側（西3丁目および西4丁目）を中心とした範囲

(出典：札幌駅前通地区まちづくりビジョン)

収支の構造

主な財源は**広告費**と**広場使用料**で、広告費による収入は半分以上を占める。主な支出は一般管理費（人件費等）となっている。

収入		支出	
指定管理費	1,560	清掃・サインージ管理費 （壁画広告）	2,640
広場使用料	9,800	目的外使用料 （壁画広告）	360
広告費	5,150	広告販売手数料 （広告代理店手数料）	2,800
その他 （委託費等）	2,590	事業委託費	3,350
		宣伝・協賛・印税費	8,210
		一般管理費 （会社運営費）	560
計	19,100	計	17,920

札幌駅通まちづくり(株) (北海道 札幌市)

国土交通省

賑わい

札幌駅前通地区
活性化委員会
(行政・企業・地権者)

- ・まちづくり活動の継続した実行委員会
- ・各種イベントの実施など

まちづくり推進

札幌駅前通協議会
(地権者)

- ・地区計画等の協議・検討
- ・将来像の実現に資する開発を誘導するための事前相談・事前協議
- ・景観まちづくり活動など

防災

札幌駅前通地区
防災協議会
(地下歩行空間に隣接するビルや関係施設など)

- ・防災マニュアル・帰宅困難者の手引き策定
- ・防災情報伝達訓練の実施など

札幌駅前通まちづくり株式会社

- ・まちづくり活動の原資獲得を含む公共施設の活用
- ・各種活動組織の連携促進・行政と企業との調整
- ・振興会、協議会、活性化委員会、防災協議会の事務局

札幌駅前通振興会
(駅前通地区のビルオーナー・テナント)
※すべての団体と連携

札幌市

↑ 参加 ↓

↑ 参加 ↓

↑ 参加 ↓

【総合性】(NPO) 大丸有エリアマネジメント協会

大丸有エリアマネジメント協会 リガーレ (東京都千代田区)

国土交通省

組織概要

組織形態：NPO法人
 設立年：2002年
 都市再生推進法人 (2019年11月指定)
 構成員：会長1名、理事長1名、副理事長1名、常務理事1名、理事13名、監事1名
 法人正会員88社、公益法人正会員2社、法人賛助会員2社 (2021年5月1日時点)

<組織設立の背景と目的>
 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会が策定した「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン」の趣旨・内容を尊重しながら、大手町・丸の内・有楽町地区を中心とした地域の活性化や環境改善、コミュニティの形成に関する事業を行い、その成果を多様な人々が享受することによって、地域社会ひいては東京並びに日本社会の活性化に寄与することを目的とする。

活動範囲

大手町・丸の内・有楽町地区 (約120ha)

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

<電子マネーを活用した自動集金>
エコ結び ※リガーレではなく、エコリッツア協会の活動原資となっている可能性あり
 大丸有エリアの加盟店でSuica・PASMOで買い物をすると、支払額の1%が自動的に「エコ結び基金」にたまり、基金を原資とした環境保全活動やまちづくり活動に役立てられる仕組み。
 約600店舗が参加
 集まった基金総額は 1億4266万795円 (2021/3/31現在)

<公的空間を活用した賑わい創出>
 道路法の特例 (国家戦略道路路占用事業) や都しゃれ街条例に基づく公開空地の活用などを行いながら、様々なイベント事業や 広告事業などを展開している

<MICE事業>
DMO東京丸の内 Destination Marketing Organization (DMO) TOKYO Marunouchi
 DMO東京丸の内は、都心型MICEの誘致促進を目的に、MICE、ユニークベニュー施設を所有、運営する20団体余で結成された組織です。リガーレを事務局に、参画団体が連携し一体となって情報共有・情報発信に努めるとともに、エリア全体でまちのおもてなし力を上げ、MICE誘致促進を図ります。また、WEBサイト「VENUES TOKYO / Marunouchi」では、大丸有エリアでのMICE開催に関する相談を受け付けています。2018年11月には、丸の内二重橋ビルにDMOの活動拠点が開設されます。

大丸有エリアマネジメント協会 リガーレ (東京都千代田区)

国土交通省

複数のエリア組織の役割・連携

多様な団体・組織が連携して
大丸有エリアのまちづくりに取り組んでいます
A wide range of groups and organizations participate in the OMY district's urban development.

リガーレとともにまちづくりの担い手となるのは、互いに連携・補完し合う多様なエリアマネジメント団体です。この組織的な仕組みが、他のまちにはない特色を生み出しています。
 Together with Ligara, various area management groups work and complement each other in urban development. This organizational system is a unique feature that cannot be found in other areas.

エコツヴェリア協会
 The Ecozzveeria Association
 (2007年設立)

大丸有まちづくり協議会
 The Council for Area Development and Management of Chiyoda, Marunouchi, and Yurakucho
 (1988年設立、2012年改組)

千代田区
 Chiyoda-ku

リガーレ
 NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
 OMY Area Management Association
 (2002年東京都認定NPO法人)

JR東日本
 JR East

東京都
 Tokyo

サステイナブルなまちづくりを推進
 Promoting sustainable urban development.
 大丸有地区に集う企業・事業者と環境・健康等の社会課題を解決するため、近世代の働き方を模索しながら研究開発・事業企画に取り組んでいます。

まちの賑わいやコミュニティづくりを推進
 Stimulating life to the district and building communities.
 連携をはじめとした公的空間の活用や、交流・協働などの活動を通じて、大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

再開発・まちづくり・地権者合意形成
 Redevelopment, urban development, and consensus building with land owners.
 大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの社会価値を高め、東京の中心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。

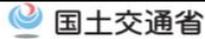
大丸有地区 駐車環境対策協議会
 The Chiyoda Marunouchi Yurakucho Carparking Counter Council
 (2004年設立)
 地域ルール策定 / 交通環境改善

東京駅周辺 防災協団
 Tokyo Station Neighborhood Association for Disaster Prevention (Regional Cooperative Association)
 (2004年設立)
 防災地域協力

丸の内パブリックスペースマネジメント
 Marunouchi Public Space Management
 (2007年設立)
 公的空間管理

一帯性法人 大手町歩道 マネジメント
 The Chiyoda Post-town Road Management
 (2013年設立)
 公的空間管理

【総合性】（一社）We Love 天神



We Love天神協議会・一般社団法人We Love天神（福岡県福岡市）

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2006年
 構成員：総会、理事会、幹事会、事務局

＜組織設立の背景と目的＞
 We Love天神協議会は、福岡天神エリアの企業、団体、住民、行政など多様な活動主体で構成するエリアマネジメント団体、2006年に設立。安全安心で快適な環境の形成、地区の価値集客力の向上、地方経済の活性化、及び生活文化の創造などを目的として“まちづくり”を推進。
 一般社団法人We Love天神は、We Love天神協議会が作成した「天神まちづくりガイドライン」の目標実現に向けた、まちづくり活動の推進に寄与することを目的に設立。

主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

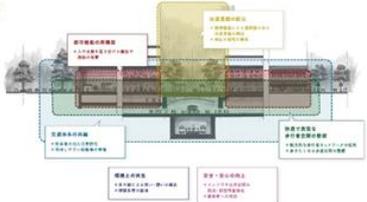
＜公共空間利活用＞
パナーフラッグ・公開空地利活用

企業広告などを目的に、渡辺通（約1.2Km）で実践的なパナー掲出を管理している。また、地区内の①福岡市役所前ふれあい広場、②ライオン広場、③ソラリアプラザゼファ、④イムスクエアを中心にイベントスペースを活用して効果的なプロモーションを行う企業を募集し管理運営を実施。



＜ガイドラインの運営＞
天神まちづくりガイドライン

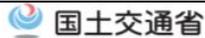
2008年には、地区の関係者が共有できる将来像や戦略、具体的な活動施策を含む「天神まちづくりガイドライン」が策定。策定後は「ランドレベル実現の手引書」において目指すべき将来像をより具体的に想起させるモデルプランと個別の計画や事業が重視すべき事項が明文化されている。



活動範囲



【総合性】（一社）渋谷駅前エリアマネジメント



9/2 提示資料

（一社）渋谷駅前エリアマネジメント（東京都 渋谷区）

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2015年
 構成員：渋谷駅街区エリアマネジメント協議会（立地企業4社）、立地管理組合3社、立地再開発組合1社、土地区画整理事業共同施行者2社

＜組織設立の背景と目的＞
 2015年8月に渋谷駅前エリアマネジメント協議会が定めたルール・方針に基づいて、まちづくり活動を行うことを目的に設立された。同協議会に加え、駅周辺のビル開発事業者、土地区画整理事業施行者から構成される。

主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

＜広告事業＞
渋谷スクランブルスクエアビジョン

立地的に広告収入が見込める渋谷の駅前では、これをまちづくりの財源とすべく都市計画提案の段階から屋外広告の検討が行われた。景観条例と屋外広告物条例の規制緩和が必要となるため、渋谷らしいダイナミックな景観づくりやまちの環境にあわせた独自の屋外広告物ルールを策定し、デジタルサイネージによる広告掲出社会実験を行うことにより、都市再生特別地区における規制緩和を初めて実現した。



＜公共空間利活用＞
官民連携による渋谷駅東口地下広場の活用

渋谷では、渋谷駅東口地下広場という道路空間を柔軟に利活用することにより、渋谷らしい空間演出とエリアマネジメントに必要な収益の確保を行っている。渋谷区でもある地下広場に、壁面屋外広告物を掲出したり、飲食店舗へのスペース貸しなど収益化することで、道路清掃などに還元された先進的な官民連携の事例である。さらに、情報発信や観光案内所、コインロッカーを設置したおもてなし空間もつくっている。



活動範囲



渋谷駅街区、道玄坂一丁目駅前地区、渋谷駅南街区、渋谷駅桜丘口地区、渋谷ヒカリエの都市計画決定に基づく開発区域および接続する公共空間の範囲を基本とするエリア

まちづくり福井(株)（福井県 福井市）



組織概要

組織形態：株式会社
 設立年：2000年
 都市再生推進法人（2013年指定）
 構成員：スタッフ9名
 株主：120名（福井市、福井商工会議所、商店街・事業協同組合、公益企業（鉄道・電力）、金融機関等）

<組織設立の背景と目的>
 まちづくり福井は中心市街地活性化計画の推進機関として2000年に設立された第三セクター。2013年には都市再生推進法人の指定を受け、道路空間や公共空間を活用したまちなかの賑わい創出と、まちづくりの人材発掘・育成を行う「まちの担い手づくりプロジェクト」を推進、2015年からは地元商店街などと連携して「リノベーションスクール」を実施するなど、官民連携まちづくりのコーディネーターとして多様な事業を推進・展開している。

活動範囲

JR福井駅の西側に位置するエリア



主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

<公共空間利活用>
にぎわい交流施設の指定管理

福井市にぎわい交流施設「ハピリン」の指定管理を受託。屋根付き広場「ハピテラス」と能舞台のある「ハピリンホール」を使ったイベント（指定事業）と貸出業務で収益を生み出している。

<公共空間利活用>
ソライロテラス・まちなかイベント企画・実施

オープンカフェの整備・運営（テーブル・パラソルセットの貸出し、道路占用許可及び道路使用許可申請等）、イベント時のケータリングカー・マルシェ出店等の物販・飲食事業などを展開。公共空間の利活用では、初期段階から県、市、警察、地元公共交通事業者、民間まちづくり団体などが幅広く参加する検討会を立ち上げ、社会実験や恒常的な公共空間利活用の仕組みづくりが行われた。

<不動産賃貸事業・コミュニティバス事業>
多様なまちづくり事業

その他不動産賃貸やコミュニティバス事業で収益を生み出している。事業収益はまちづくり福井により中心市街地の多様なまちづくり事業に還元されている。



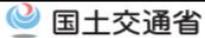

<リノベーション事業>
リノベーションまちづくり

遊休不動産の有効活用によるまち再生の推進とリノベーションの担い手の発掘・育成をすることを目的に、実践型ワークショップを開催。

1-7

先進性のあるエリアマネジメント団体

【先進性】(株) まちづくり八戸



まちづくり八戸 (青森県八戸市)

組織概要

組織形態：株式会社
 設立年：2007年
 都市再生推進法人 (2020年12月指定)
 構成員：株主48人

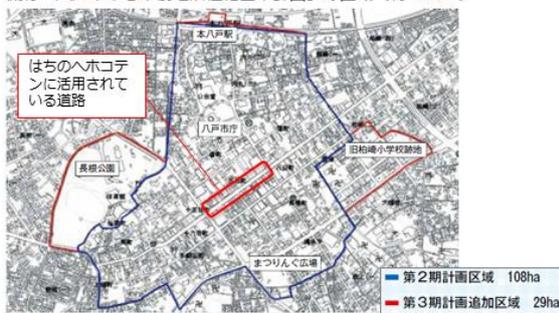


【組織概要図】

<組織設立の背景と目的>
 中心市街地の活性化に関する企画・調整、意思決定、進行管理、合意形成を行う役割を果たし、あわせて、魅力ある街区を形成するためのハード・ソフトの事業主体となり、民間・行政・住民などの関係者が一体となったまちづくりを推進することを目的とする。
 中心商店街を中心とする地域の事業所、八戸商工会議所、八戸市などの出資で設立された第3セクターの株式会社である。

活動範囲

概ね「八戸市中心市街地活性化基本計画」の区域 (約137ha)



はちのへほコテンに活用されている道路

■ 第2期計画区域 108ha
 ■ 第3期計画追加区域 29ha

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

<共通駐車券発行>
おんでカード
 八戸中心商店街の加盟店で買い物をする、買い物金額に応じて加盟駐車場の利用料金の支払いに使えるおんでカードを進呈している。
 (*エリマネ団体の収入の有無は不明)



<商店街の価値向上サービス提供>
まごころ宅配サービス
 八戸中心商店街の加盟店で実施している宅配サービス。取扱店にて購入した商品は、配送料360円(税込)で自宅まで配送できる。
 (*エリマネ団体の収入の有無は不明)

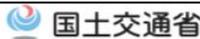


<ストリートイベント>
公共空間の場所貸し
はちのへほコテン
 毎月最終日曜日に、中央商店街のメインストリートを通り、交通規制し、音楽・ダンス等のパフォーマンスや、野外店舗の出店を行うイベント。パフォーマンスは無料で場所や音響機材を貸出している。店舗の出店者からは、1コマ幅6m×奥行3mの出店スペースを、下記の料金で貸し出している
 中心商店街の方：1,500円/日(税込)
 中心商店街以外の方：2,500円/日(税込)



1-8

【先進性】(NPO) かみのやまランドバンク



かみのやまランドバンク (山形県上市市)

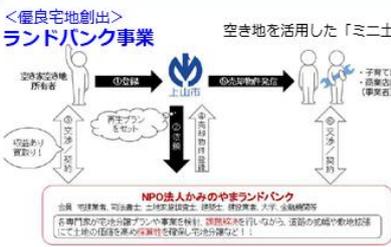
組織概要

組織形態：NPO法人
 設立年：2019年
 都市再生推進法人(2021年3月指定)
 構成員：理事長1名、副理事長2名、理事7名、監事1名
 法人会員27社、個人会員14名(2021年3月末時点)

＜組織設立の背景と目的＞
 空き家・空き地の増加や放置される例が目立ってきた状況を受けて、空き家や空地を一体的に再編して良好な宅地を生み出すランドバンク事業を推進するために、民間と行政が発起人となり法人を設立。明海大学不動産学部などの専門家が活動を支援している。都市再生推進法人への指定を契機に、リノベーションの支援やリノベーション不動産の運営などに、事業領域を拡大させていく模様

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜優良宅地創出＞
ランドバンク事業
 空き地を活用した「ミニ土地区画整理事業」のような事業。



＜リノベ支援・民間不動産賃貸＞
Harappa (蕎麦&カフェ)
 都市再生推進法人プロジェクト第一弾として2021年5月に開業。かみのやま温泉駅前の旧お土産屋のリノベーション物件。空き家バンクでの物件紹介、クラウドファンディングや補助金による資金確保、地域コミュニケーションなどを支援(※団体は家賃収入を得ている)

＜民間不動産の賃貸＞
空き家サブリース
 ランドバンクで空き家を借り上げてリノベーションを行い、企業側の外国人住宅として貸し付ける事業。市内の外国人人材派遣会社(キャブラスインターナショナル)と連携し、労働力確保と空き家再生を一体的に進めることを目指す。2022年度：外国人入居(予定)

＜リノベ支援＞
旧澤の湯(公衆浴場)の利活用
 観光客、子育て世帯、若者が利用できる公衆浴場への再生プロジェクト
 2021年度：改修工事、開業(10月)予定

活動範囲

上山城の周辺エリア(約●ha)

■NPO法人かみのやまランドバンク
 ～都市再生法人 活動～

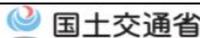


- 公的性質づけによる価値の確保
- 産機間からの支援による「まちづくりファンド」設立へ
- ・ 空き家リノベーションへ補助金として活用

① 現状・課題
 ● まぼろしに発生する空き家
 ● 空き店舗増加
 ● 空き物件の買い手や投資による住みづらさ
 ● 高齢化や人口減少
 ● 魅力づくりと防犯性UP
 ● 不動産の高騰、② 居住環境改善

ランドバンクエリア
 ● 凡例
 ● 空き家再生
 ● 空き店舗
 ● 公園

【先進性】合同会社 ミライズ (株)



合同会社ミライズ (新潟県新潟市)

組織概要

組織形態：株式会社
 設立年：2014年
 構成員：地域の旅館・ホテル8社が出資

＜組織設立の背景と目的＞
 宿泊者数の減少、空き店舗の増加に悩む月岡温泉の経営者らが、従来のような、行政や観光協会の予算だけではまちなりを継続できないことに危機感を抱いて、開湯100年を機に、自らの共同出資による会社を設立。空き店舗を活用した新規出店を自ら継続的に行うとともに、街並み整備の助成金を活用した景観形成にもあわせて取組み、歩いて楽しめる温泉街づくりを行っている。

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜統一ブランドによる店舗の出店＞
店舗運営事業
 一年に1店舗ずつ増やしていくことを目標として、郷土の食をベースにした、統一ブランドによる店舗を出店。既にこれまでに8店舗を出店し来訪者が体験できることを重視した、滞在型の観光やリピーターの開拓を目指している。

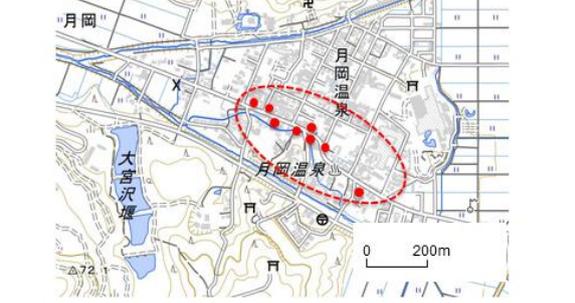


＜景観整備＞
月あかりの庭など
 上記のようなリノベーション事業と連携して、月岡温泉観光協会が中心となって、コンクリート塀の木塀化や、空地の緑化、看板の色の統一などの景観整備の取組も行っている。また、空地を活用して観光客が自由に利用できる庭園を整備し、緑化と休憩スペースの確保、夜間景観の演出を行っている。

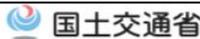


活動範囲

おおよその活動範囲 (●はリノベーションにより出店した店舗)



【先進性】長浜まちづくり（株）



長浜まちづくり株式会社（滋賀県長浜市）

組織概要

組織形態：株式会社
 設立年：2009年
 構成員：スタッフ（4名）



【組織概要図】

<組織設立の背景と目的>
 長浜市中心市街地では観光客やまちなか居住人口の減少や高齢化などの課題に課題に取り組むべく、2009年に中心市街地活性化基本計画を策定。長浜まちづくり株式会社は基本計画に掲げられた目標を実現し、エリア内の商業、居住・コミュニティに関するトータルマネージメントを中立的で公平な立場で推進することを目的に設立。長浜市、長浜商工会議所、金融機関、民間事業者からの出資金を受けて設立した長浜市第3セクターである。

主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

<都市アセットの運営>
安藤家・駐車場・町屋の施設管理・運営
 北国街道沿いの明治38年築の商家「安藤家」を、長浜まちづくり株式会社が管理公開している。建物の一角が事務所は長浜まちづくり株式会社の事務所になっている。
 その他にも、駐車場運営や町屋の貸し出しを実施。駐車場は月契約することで安定的な固定収入を、町屋は同社が不動産オーナーと賃貸契約し、シェアハウスやシェアオフィスとして分割して貸し出し、安定した賃料を得ている。

<生活文化×コンテンツ開発>
案内所どんどの運営
 どんどんは地域コミュニティのハブとしてシェアスペースを利用する事業者や近隣住民などのネットワーク形成の一助を担っている。プロジェクト実施するには地域界隈にいるメンバーに呼び掛けてプロジェクトの一端を担ってもらうなど、強い繋がりが出てきている。

<空き家活用事業>
長浜町屋再生バンク
 まちなか居住の促進、新しいマーケットと担い手育成を目的に、長浜市と連携し町屋再生バンク実践プログラムを実施。同社では空き家の活用を担当し、まず、建物の現況確認を行い、賃借や売買等、物件にふさわしい再生方法などの情報を町屋再生バンクに集約し、町家を現代の暮らしの器として再生することをサポートしている。



滋賀県長浜市中心市街地活性化基本計画区域（180ha）

【先進性】（一社）まちなわひばりが丘



（一社）まちなわひばりが丘（東京都西東京市）

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2014年
 構成員：正会員7名、賛助会員法人1社
 及び個人20名 個人会員約800名

<組織設立の背景と目的>
 ひばりが丘団地再生事業区域のエリアマネジメントを行い、ひばりが丘団地再生事業区域の団地の建て替えにおける良好な環境や地域の価値を維持、向上させるために、民間テレポートとUR都市機構が中心となって立ち上げた。住人々のコミュニティ形成と地域の活性化を推進し、防災・防犯、自然との共生、歴史・伝統の継承、多世代交流と子育て支援、街づくりの学習の機会創出を行うことを目的とする。分譲街区住民が負担するコミュニティ形成費（1世帯300円/月/世帯）を原資に運営している。

主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

<公共空間の場所貸し>
ひばりテラス118の運営
 「ひばりテラス118」は、居住エリアにかかわらず地域の人々が利用できるコミュニティセンターである。
 まちなわひばりが丘の事務所のほか、大小6つのコミュニティスペース、仕事や趣味に時間を使えるパーソナルスペース、飲食ができるカフェ、共同菜園や芝生広場、カーシェアを備えている。
 一般区分「HIBARI区分」住民「TANPOPO区分」ごとに利用料金が異なる。

会員登録	NEEDS	TANK	TAVERA	RECEIVE	WORKING	HANA
HIBARI区分	500円	500円	500円	500円	700円	700円
TANPOPO区分	700円(2歳未満利用)	300円	300円	300円	500円	500円
SAKURAZONO区分	500円(2歳未満利用)	500円(2歳未満利用)				

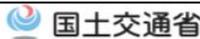
<地域情報の共有>
コミュニティ・メディアAERU
 春夏秋冬4か月ごとに、地域の情報を発信している。季節ごとの行事や時事情報等を地域住民とともに制作している。

<ひとの循環を図る>
まちなわ餅
 「まちなわ餅」という名前は、餅を手入れし、豊かにする「餅師」からとっている。「まちなわ餅」としての関わり方は、まちなわひばりが丘のアクションに沿って「つなぎびと」「つたえびと」「つくりびと」の3種類



概ね「ひばりが丘団地再生事業区域」の区域（約33.9ha）

【先進性】(一社) 荒井タウンマネジメント

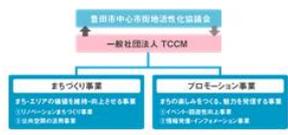


(一社)TCCM(Toyota City Center Management) (愛知県豊田市)

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2017年
 都市再生推進法人（2018年3月指定）
 構成員：豊田商工会議所、豊田まちづくり各3名が設立社員

＜組織設立の背景と目的＞
 豊田市中心市街地のエリアマネジメントを推進するため「まち・エリアの価値の向上」、「まちの楽しみをつくる魅力の発信」を目的に公益性的な一般社団法人として設立。公共空間活用のまちづくり事業や、楽しさ魅力発信のプロモーション事業等を展開し自立した組織運営を目指す。



主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜公共空間の利活用＞
実証実験 Toyota Street Market、あそべるとよたプロジェクト

- 都市再生推進法人として都市利便増進協定にもとづく豊田市停車場線の活用事業（実証実験 Toyota Street Market 等）
- ペDESTリアンデッキ広場の運営管理（あそべるとよたプロジェクト）、駅西口ペDESTリアンデッキの飲食店の運営管理および、広場空間の運営管理業務を行う。飲食店売上の一部をまちづくり・エリマネ事業に還元。





＜プロモーション事業＞
組織の自立化、収益のまちづくりへの還元

- まちなか宣伝会議
- 映画を活かしたまちづくり実行委員会

＜収益事業＞
組織の自立化、収益のまちづくりへの還元

- 公園、広場、道路等公共的空間活用等事業
- まちなか案内「ワエルカムセンターコンテナエヌロク」事業
- 北部駐車場運営管理業務
- 調査、事務局業務等の受託事業
- レストラン（豊田市駅東口/ス待合所）運営・管理事業



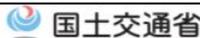

活動範囲

活動エリア：豊田市中心市街地



(出典：第3期豊田市中心市街地活性化基本計画)

【先進性】(社会福祉法人) 佛子園



(社会福祉法人)佛子園 (石川県輪島市・輪島KABULETプロジェクト)

組織概要

組織形態：社会福祉法人
 設立年：1960年

概要：石川県内の各地で、社会福祉施設の運営を行う社会福祉法人。児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉のほか、まちづくり、スポーツ、国際交流まで幅広く活動する。多様な人々が支え合いコミュニティを再生するまちをつくることを理念に活動し、「シェア金沢」などの多世代共生施設の運営に実績がある。

＜プロジェクトの概要＞
 輪島市中心部に点在する空き家や空き地を活用して、子どもから高齢者、障害や疾病の有無・国籍を問わず地域に共生して暮らすことを目指すプロジェクト。内閣府の「生涯活躍のまち」先行7モデルの一つとして取り組まれている。

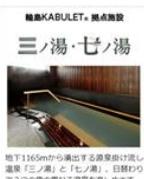
主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜多種多様な施設による地域再生＞
空き家、空地のリノベーション

高齢者福祉施設、健康増進施設、障害者向け短期入居住宅、グループホーム、飲食店、温泉、ゲストハウス、コワーキングスペース、2輪専用ガレージなど、空き家のリノベーションや空き地活用により、多種多様な施設の運営を行っている。



誰でも気軽に集える場。自家製粉、自家製油にこだわった本格和食の提供。輪島やのちのち。



地下165mから湧出する源泉掛け流し温泉「三ノ湯」と「七ノ湯」。日替わりで2つの湯に入る温泉を楽しめます。



高齢者サービスなど、地域に根づく福祉・医療サービスを提供する場です。



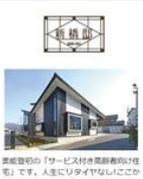
日本初の実証型複合型ウェルネス。白山、小松に続く3号店です。種々なまちづくりに取り組みしています。



親子で楽しむすべてを丸ごとママカフェです。親子交流、お友達交流の場としても活用します。



空家を舞台に若い世代の若年層にリノベーションした。他の街のようにくつろげる心地も空間です。



高齢者の「ワー」サービス付き賃貸物件に「宅」です。入居にシフトしないことからは新しいアクティブライフが始まります。



障がいを持った方が共同で生活することで自立を支援する女性向けのグループホーム。

活動範囲

おおよその活動範囲



【先進性】(一財)武蔵野市開発公社

(一社)武蔵野市開発公社 (東京都武蔵野市)

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：1968年
 都市再生推進法人(2020年12月指定)
 会員：理事7名、評議員5名、監事2名

＜組織設立の背景と目的＞
 開発公社は、昭和39年に武蔵野市により吉祥寺駅周辺都市計画事業が計画決定されたことに伴い、当該計画で移転を要する商業者への対策と、吉祥寺発展の拠点的役割を担う商業核となる魅力ある施設建設を推進するため、旧民法に規定する公益法人として昭和43年8月に設立。武蔵野市の外郭団体として吉祥寺をはじめとしたまちの魅力や価値向上に取り組む法人。自治体の補助金に頼らず、商業ビルの運営で自立した経営を行い、そこで得た利益をまちの魅力や価値を高める取り組みに還元する事業を展開。

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

保有する不動産や管理するオープンスペースにより得られる収益を、公益目的のまちづくり事業へと還元している。

武蔵野市開発公社の収益は、運営・再投資、まちへの還元、およびまちづくり事業(公益目的事業)へと振り分けられます。まちづくり事業には、マスターリース事業、プロパティマネジメント事業、レンタル事業、出賃、キック割り事業、サポート事業が含まれます。また、協賛・MCUD、協力企業、パートナー企業との連携も図られています。

吉祥寺駅周辺地区の地図。吉祥寺駅を中心に、周辺の商業エリアや住宅エリアが示されています。

(一社)武蔵野市開発公社 (東京都武蔵野市)

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜不動産事業＞

保有不動産の有効活用

保有不動産を有効活用(売買、賃貸借など)することにより、法人の活力と体力の向上、自然災害やビル管理上の法令などの各種リスクマネジメントが目指されている。

＜レンタルスペースの運用＞

6つのレンタルスペース

地区内で物販やイベントに使用可能な特性の異なる6つのスペースを運用。レンタル料の設定や申請手続きや付属設備の提供などを実施。

吉祥寺デッキの使用料金

【料金/日中(9時～17時)】
 ◆平日＝66,000円/日(税込)
 ◆土日祝＝132,000円/日(税込)

【料金/夜間(18時～22時)】
 ◆平日＝33,000円/日(税込)
 ◆土日祝＝66,000円/日(税込)

吉祥寺デッキ

チャレンジマルシェ

A3階段下ワゴン

PENNY LANE GALLERY

B線コーナー

2ビル軒先(期間限定)

＜まちづくり事業(公益目的事業)＞

キック割り事業、サポート事業

法第119条	名称	目的	牛込の橋	事業内容
1	まちづくり活動推進事業	公益	● ● ●	地区のまちづくり活動推進に関する活動の実施を行う。
2	商業施設(店舗)の企画・運営の補助	公益	● ● ●	店舗の企画・運営の補助を行う。
7	公共施設の活用に関する取組の推進	公益	● ● ●	公共施設の活用に関する取組の推進を行う。
8	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
9	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
10	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
11	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
12	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
13	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
14	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
15	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
16	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。
17	まちづくり活動推進に関する取組の推進	公益	● ● ●	まちづくり活動推進に関する取組の推進を行う。

【先進性】(一社) 淡路エリアマネジメント

一般社団法人淡路エリアマネジメント (東京都千代田区)

組織概要

組織形態：NPO法人
 設立年：2012年
 構成員：社員総会、理事会、事務局、
 会員、評議会(周辺町会、学校関係者、
 学識経験者)

＜組織設立の背景と目的＞

かつて地域コミュニティの核であった千代田区立淡路小学校跡の再開発を契機に、2014年「一般社団法人淡路エリアマネジメント」が設立。エリアマネジメント組織の設立は再開発準備組合が東京都・千代田区に容積率緩和の条件として提案した地域貢献策の1つである。
 再開発で街の環境が大きく変化する中、神田らしい情緒ある良好な地域コミュニティを維持し、安心して快適なまちを実現するために、既存の地域団体と連携して、地域活動を推進および支援することを目的としている。広場やコミュニティ複合施設(ワテラスコモン)、ワテラスチューデントハウスという地域で活動を行うことを条件に入居ができる学生マンション等、多様な活動拠点がある。

活動範囲



主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜学生居住推進活動＞

ワテラスチューデントハウス

ワテラスアネックス最上階14・15階にワテラスチューデントハウスが位置する。入居者は入居学生は淡路エリアマネジメントの学生会員として、地域に根ざして居住しつつ、地域活動に積極的に参加する仕組みを構築。賃料を周辺相場と比して安価に設定する代わりに、地域活動への参加を義務付けている。



＜地域交流活動＞

コミュニティ施設

市街地再開発で整備されたコミュニティ施設(ワテラスコモン)、ワテラス広場、千代田区立淡路公園ではワテラスキッズ(広場に遊具を設置)やワテラスキッチン定期イベントや地元町会と連携したイベントを実施し、淡路地域に関わる住民、企業、就労者、学生などが交流を深められる新たな仕組みをつくり、地域交流を推進している。



＜地域情報誌＞

FREE AWAJI BOOK 8890 (FAB)

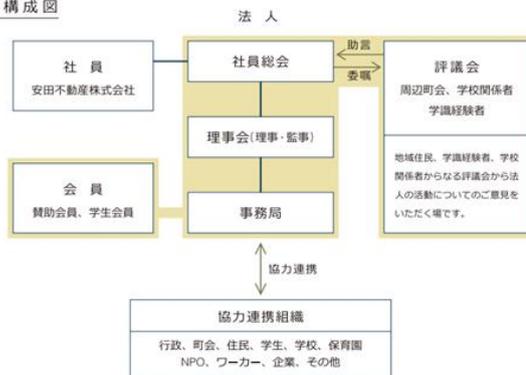
神田淡路町界隈の「神なモノ」を発信する地域情報誌。巻頭の「特集」では、毎月1つのテーマにまつわる新・旧の地域資源を紹介。4月、8月、12月の年3回発行。



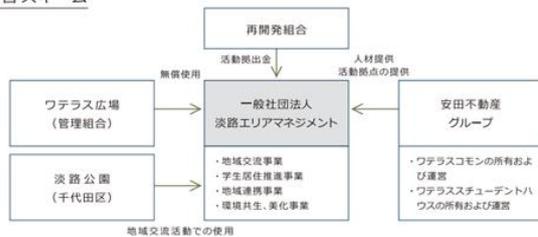
一般社団法人淡路エリアマネジメント (東京都千代田区)

組織概要

組織構成図



運営スキーム

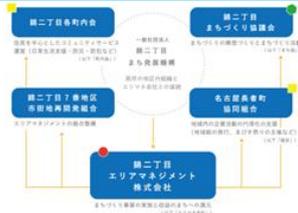


【先進性】錦2丁目エリアマネジメント（株）

錦2丁目エリアマネジメント株式会社（愛知県名古屋市中区）

組織概要

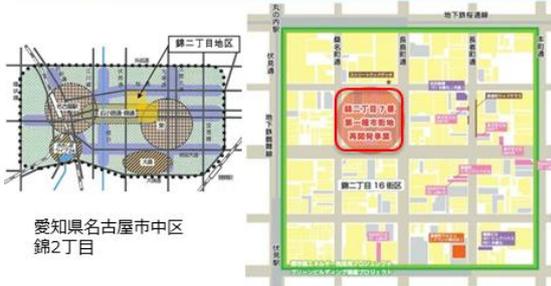
組織形態：株式会社
 設立年：2018年
 都市再生推進法人
 （2021年4月指定）
 構成員：代表取締役、取締役、監査役



＜組織設立の背景と目的＞

戦後、織機問屋街として栄えた長者町を含む錦2丁目地区の再生に向け、2004年に錦2丁目まちづくり協議会が設立。2008-2011年にかけて「錦2丁目長者町まちづくり構想」を策定。地区内の市街地再開発事業（錦2丁目7番地区）の施設計画にも反映されている。2018年には、まちづくり事業の実施と収益の街への還元を推進する「錦2丁目エリアマネジメント株式会社」が設立。市街地再開発事業で整備されるエリアマネジメント活動拠点で、生活支援や地域交流等の事業を行い、収益は地域活性化等に還元することが予定されている。

活動範囲



主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

＜まちづくり構想＞
 錦2丁目長者町まちづくり構想

2004年に「まちづくり連絡協議会」が設立され、町内会や協同組合の連携を図り、まちを面的に捉えたまちづくり活動が展開された。協議会の主導によりワークショップや会議、学習会を重ねて、2011年「錦2丁目長者町まちづくり構想」が策定された。
 まちづくり構想は、錦2丁目7番第一種市街地再開発事業の施設計画にも反映されている。



＜遊休不動産によるリーシング事業＞
 空きビルのリノベーション活用

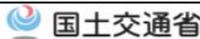
2002年から、協同組合等が改装資金を負担する形で空きビルのリノベーション活用が進められた。また、2006年以降は、名古屋市が策定した「伏見・長者町ベンチャータウン構想（2006年3月）」も踏まえ、ベンチャーオフィス整備も含めたリノベーションの事業展開が展開されている。

＜エリアプラットフォーム＞
 N2/LAB

2020年、企業や行政、大学など様々な主体と未来の地区・コミュニティの実現に向けた構想・研究・共創を進めるエリアプラットフォームが立ち上がった。



【先進性】三宮中央通りまちづくり協議会



三宮中央通りまちづくり協議会 (兵庫県神戸市)

組織概要

組織形態：株式会社
 設立年：2001年
 構成員：商店街4団体(店舗数約130件)

＜組織設立の背景と目的＞
 三宮中央通りの賑わいと魅力ある街並み景観の向上のために商店街4団体が三宮中央通りまちづくり協議会を設立した。長期的に街路を使える「占有者」として歩道の活用策を検討し、誰もが足を運んでもらえるようなまちづくりを目指している。

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

＜道路空間の利活用＞
KOBEパークレット ※次ページに詳細記載
 街路を活用したオープンカフェのイベント開催や三宮中央通りへのパークレット導入の社会実験、岸設化の実現などの官民連携によるまちづくりが着実な成果を上げており、加えて、2020年の夏より「コロナ占有特例」制度を使い、飲食施設を設置するなどして歩道を活用してきた。これらの実績により、2021年に三宮中央通りは日本初の歩行者利便増進道路(ほこみち)指定を受けた。ゆとりある歩行者空間とほこみち制度を最大限活用して、より多くの来街者に楽しみながら利用してもらい、より多様な事業者が活動しやすい場を提供することにより、神戸の中心的なエリアを象徴する通りとして発展することを目標としている。

＜広告事業の活用＞
KOBEパークレットと合わせた広告事業
 道路環境向上のための自主的な地域活動や施設整備等、公共的な取り組みに要する費用の一助として広告により得た協賛金を活用。活動主体が、要綱等に定めるルールに基づき、一定の条件を満たした協賛者を選定し、その協賛者が広告物を設置。

活動範囲

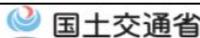


三宮中央通りに面する区域

■ 広告事業のスキーム







三宮中央通りまちづくり協議会 (兵庫県神戸市)

主な事業内容 (特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載)

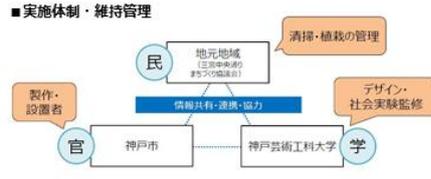
2003年：景観形成市民協定の設立
 2004年～：オープンカフェ社会実験の開始
 2016年～：KOBEパークレット設置に向けた実証実験
 2020年～：KOBEパークレットの本格利用開始
 2021年～：「ほこみち制度」適用第1号

■ 対象区域

別図 対象区域



■ 実施体制・維持管理



《連携により期待される主な効果》

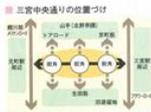
- 効果的な役割分担
- 公共空間としての機能向上(来訪者の満足度向上～都市魅力の創造)
- 民主的なまちづくりに基づいた交流の場を創出(新たなビジネスチャンスの創出)

美しいまちなみは、みんなできつくり、育むもの

歩いて楽しい三宮中央通りーこのまちに物語が生まれる

訪れる人、住きかう人たちが演ずる夢舞台!!

三宮中央通りの位置づけ



三宮中央通りの命名



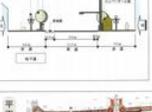
施設配置・形態・用途



通りの賑わい



緑化・飾花



遊歩・広告物・テント



まちの特長



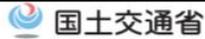
・Aタイプ



設置前



【先進性】（一社）ひとネットワークひめじ



一般社団法人ひとネットワークひめじ（兵庫県姫路市）

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2012年
 構成員：正会員14名、団体再会員17団体、賛助会員12団体、サポーター会員

＜組織設立の背景と目的＞
 姫路駅では、JR山陽本線などの連続立体交差事業に伴う街路整備や姫路駅周辺土地区画整備事業が進み、2007年から市民活動が活発化。2008年には姫路駅前広場整備推進会議が発足し、公共空間の管理運営の議論が重ねられた。2012年には駅前広場完成後の運営事業主体として「一般社団法人ひとネットワークひめじ」が設立された。

主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

＜広場運営業務＞
姫路駅北にぎわい交流広場運営業務

市から指定管理を受け、一般社団法人ひとネットワークひめじが「姫路駅北にぎわい交流広場」運営。姫路駅北にぎわい交流広場では広場完成までの1年半の間、持続的活用・運営の検証のための社会実験が実施された。広場完成後は、利用者が増加し安定した広場運営が行われている。

運営に当たっては、収益性だけではなく、広く市民活動の場として認知・利用してもらうため、誰でも気軽に利用できる料金設定になっている。

費用区分	単位	金額
展示会、音楽ライブ等 （展示行為のないイベント）	1日1平方メートル	300円
	延長使用（※1） 1時間1平方メートル	5円
ツルシ、講演会、物販展等 （展示行為のあるイベント）	1日1平方メートル	1,000円
	延長使用（※1） 1時間1平方メートル	150円
コンサート等の興行 （見物人から入場料等を徴収するイベント）	1日1平方メートル	2,000円
	延長使用（※1） 1時間1平方メートル	250円
祭典活動（※2）	1枠	1,000円
	電源コンセント	1日1口

活動範囲

姫路駅北エリア



広場の配置





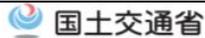
＜路上駐車場の運営＞

路上駐車場の運営

2011年から中心市街地の交通問題のひとつであった放置自転車問題を解決し、収益源化するための仕組みとして路上駐車場運営を実施。これまで駅利用者や中心市街地への来街者などの自転車が放置されていた市道の歩道上に、定期駐輪場と一時駐輪場を設置し、駐輪場運営会社と共同で計画・設置している。



【先進性】（一社）北長瀬エリアマネジメント



一般社団法人北長瀬エリアマネジメント（岡山県岡山市）

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2019年
 構成員：大和リース株式会社、岡山NPOセンター 他（2020年4月現在）

＜組織設立の背景と目的＞
 北長瀬エリアマネジメントは大和リース株式会社と岡山NPOセンターの協働で2019年に設立。北長瀬エリアマネジメントは、北長瀬駅前エリアの商業施設、公園などを含めたエリア全体が、暮らしやすく、日々がワクワクするような場所になることを目指して、シェアスペースの運営や様々なプロジェクト、個人のチャレンジや起業支援、イベントの開催等に取り組んでいる。

主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

＜新しい公民館＞
ハッシュタグ岡山

北長瀬エリアマネジメントでは、シェアスペース「ハッシュタグ岡山」という場を核にしなが、様々なプロジェクトに取り組んでいる。







あなたのチャレンジを応援します。

得意なことを生かして
 職業にチャレンジしたい方など。
 お気軽にご相談ください。





＜「こんなことをやってみたい」＞
多様なイベント

ハッシュタグでは多様なテーマでイベントを開催しており、興味のあるイベントにご参加すると同じテーマに関心を持つ仲間に出会える。イベントの開催において、スタッフがサポートする仕組みがあり、個人の要望に応じたイベントを相談できる。

＜地域みんなの冷蔵庫＞
北長瀬コミュニティフリッジ

新型コロナウイルスの影響による仕事の減少や失業などにより、日常生活に困難を抱えるひとり親家庭や生活困窮家庭に対して、プランチ北長瀬内に設置した「コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）」を通じて、食料品や日用品を提供する。

活動範囲

大和リース株式会社によるまちづくりスポットの分布



CONTACT | あなたの「やりたい」を実現に

お問い合わせ

お申し込み

お申し込み

「お互いさまの気持ち」で支えるみんなの公共冷蔵庫

GIVING FOOD



コミュニティフリッジ



TAKING FOOD



【先進性】（一社）まちなね浜甲子園

一般社団法人まちなね浜甲子園（兵庫県 西宮市）

組織概要

組織形態：一般社団法人
 設立年：2016年
 構成員：株式会社長谷工コーポレーション、京阪電鉄不動産株式会社、アートプランニング株式会社、フジ住宅株式会社、積水ハウス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、総合地所株式会社、近鉄不動産
 ※一般社団法人まちなね浜甲子園は、理事を正会員7社の社員が務め、幹事をUR都市機構の職員が務める。
 ※街区事業者の活動は開発終了（2022年）までの期間である。

＜組織設立の背景と目的＞
 浜甲子園団地地域の運営・再開発事業に伴うエリアマネジメントを実施。エリアを開発した事業者と住民が、連携しながら、より暮らしが楽しくなり、地域が抱える課題を主体的に解決できるような地域づくりに取り組んでいる。

活動範囲

浜甲子園団地エリア土地利用計画



主な事業内容（特徴のある事業や財源確保の工夫などに着目して情報を掲載）

浜甲子園団地エリアのデベロッパー・住民が一体となった住宅街におけるエリアマネジメントを推進している。緩やかなつながりを育み、エリアの魅力を高め、地域課題の取り組みなどを進めながら新たな住民自治の仕組みづくりを行っている。



＜2つの交流拠点施設＞
 HAMACO:LIVINGとOSAMPO BASE

HAMACO:LIVING

新街区のマッシュン1期にある誰もが利用できるコミュニティスペースです。子育て世代の小学生を中心に毎日約20名の方に利用されています。各種イベントや貸切利用なども行われており、この場所を通じて緩やかな近所づきあいが始まっています。



OSAMPO BASE

お散歩中に気軽に立ち寄れるようにとオープンしたカフェ。OSAMPO BASEは、整った空間と健康もコンセプトにあり、栄養豊富なサラダとこだわりのトーストの定食として人気です。近隣の学生や住民と共にDIYでつくったお店で、近所への愛着が育まれています。



＜地域の課題解決やエリア価値向上＞
 地域住民が関わる多様な事業展開

- 関わるきっかけが見つかる多様な事業展開。
- 住民の声で企画された「小中学校入学おしゃべり会」「1歳未満の親子のおしゃべり会」
- 近隣の法華川女子大学の学生による「DIYプロジェクトPOD」
- シニア層も子育て層も参加する「種彦ラン交談会」
- シルデックウォーキング「歩こう会」
- 持ち寄りご飯で持ち寄りテーマで話し合う「ゆるゆる会議」
- 子供からシニアまでが参加する公園清掃「まちびか大作戦」
- 手作り作家を招いた「ハンドメイド祭」
- 周辺の商店が参加する青空マーケット「まちなねピクニック」など



＜会費・事業収入をベース＞
 新たな住民自治の仕組みづくり

デベロッパーからの会費と住民会費で運営。加えて持続的な活動展開を目指した事業収入の拡大に取り組んでいます。カフェの運営、スペースの貸切利用、各種イベント収入、レンタルボックスなどの事業を展開しています。2022年度末にはデベロッパーが撤退し、住民が主体的に運営していくことを目指しており、活動促進と並行して担い手の育成や、事業基盤づくりにも取り組んでいます。

